

③-2 相談援助面接研修（記録編）実践コース ～福祉職の「記録」を事例を通して実践的に学ぼう～

- (1) 目的
「記録」の実際について、事例を中心に現場で応用し実践できる内容を学ぶ。
- (2) 日程
令和 3年 1月 22日（金） 【1日間】
- (3) 受講対象
昨年度までに相談援助面接研修（記録編）を受講している者。
又は今年度実施の「基礎コース」を受講見込みの者。
- (4) 定員 30名
- (5) 参加負担金 2,000円
※テキストとして研修講師著書を別途ご購入いただきます。
- (6) プログラム

実践コース 1日間		
9:30～9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『相談援助職の「伝わる記録」』	福島県立医科大学 放射線医学県民 健康管理センター 特任准教授 八木 亜紀子 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～17:00 (途中休憩あり)	演習Ⅰ『判断と根拠をSOAPで表現する』	

※プログラムは講師との調整により、一部変更する場合がありますのでご了承ください。

※SOAPとは、情報を **S**ubjective（主観的情報）、**O**bjective（客観的情報）、**A**ssessment（アセスメント、見立て）、**P**lan（支援計画）に整理して記録する、記録形式の1つ。頭文字をとってSOAPという。